

板橋区立志村第六小学校 令和5年度 学校経営方針の概要

令和5年4月18日(火)
校長 小池 木綿子

【蓮根地区学びのエリア※ 目指す児童・生徒像】 蓼村第三中・蓮根小・蓮根第二小・志村第六小
知…主体的に課題に取り組み、自分の考えを分かりやすく表現する力を身に付けた児童・生徒
徳…認め、励まし、共に成長する児童・生徒
体…自らの心身の健康に向き合い、進んで体を動かそうとする児童・生徒

【教育目標】学・共・健 一起に学び健やかに一

人間尊重の精神を基調とし、知(学び)・徳(心)・体を磨き、自らの可能性を高めていく子どもを育成する。

確かな学力の定着・向上

○板橋区授業スタンダードの徹底

【志六スタンダード】

めあて・自分の考え・友達の考え方・振り返り・まとめ

INPUT→THINK→OUTPUT

- ・学習規律の共通理解
- ・問題解決型、探究型の学習形態
- ・タブレット端末等の効果的な活用
- ・個に応じた指導 ④ 3S+G
→ 少人数指導、TT 等
→ 五組・ひまわり教室との連携
- ・学力向上推進週間の設定 等

○学びに向かう力、人間性等の涵養

- ・子どもが「学び続ける」授業の実施
- ・個別最適化・協働学習の導入
- ・学習習慣の確立(家庭学習の手引き)等

○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業革新

- ・国及び都、区独自の学力に関する調査の結果分析
- ・OJTの実施
→ 互いの授業から学ぶ
- ・各種研修、教育会、研究発表・他校種の授業参観を積極的に行い校内に還元

【板橋区立学校としてのミッション】

「教育の板橋」いきいき子ども! あなたが家族! はつらつ先生! 学び合う、学び続ける人づくり!

「学びのまち」「教育の板橋」の実現 <板橋区教育大綱、板橋区教育ビジョン2025、いたばし学び支援プラン2025>

【基本的方向性】誰一人取り残さないための居場所づくり

1 これからの社会を生き抜く力の育成(確かな学力・豊かな人間性・レガシー教育)

2 子どもの学びを保障する教育環境の確保(保幼小中の連携・安心安全な環境整備)

3 地域と共に学び合う教育の推進(地域とともにある学校・icsの推進・家庭教育)

【目指す学校像】子どものためによりよいことをとことん追求し、協働する学校

○子どもが、暮らしの中から課題を見付け、夢中になって学び、互いを認め合い高め合い、一人一人のよさを發揮できる学校

○保護者が、「この学校に通わせてよかった」と安心し信頼し信頼して子どもを任せられる学校

○地域の方々が、他に誇れる「おらが学校」

○子どものためによりよいことを全教職員がとことん追求し、協働して組織的に取り組む学校(チーム志六)※働き方改革を含む

豊かな人間性の育成

○人権教育の推進

- 「ユニバーサルマナー」「もてなし」の心
→自分とは違う誰かの視点に立ち、行動する力
- 「志六小のきまり」の具現化
- hyper-QUの結果の分析
- 学びのエリアの意図的な交流活動

○キャリア教育の充実

- ・自分を知る活動」「体験活動の重視」
→メタ認知、自己理解・自己管理能力の向上

○考える・議論する「特別の教科 道徳」

- ・自己肯定感の醸成
- ・他者理解と自己理解(見つめる)

体力の向上と安全指導

○体力の向上

- 防衛体力(食育・健康教育)
→食育(レガシー教育との関連、実態に応じた給食等)
- 健康教育(自分の心と体を知る)
- 行動体力
→運動の日常化(長寿命化工事1年目の中で)
- 体力テストの結果の分析

○安全教育の充実(安全教育プログラム、学校安全計画)

- 生活安全
 - 交通安全
 - 災害安全
- 自助・共助・公助
自分を守り 相手を守る

【目指す教師像】共汗・継続・徹底

○Passion 情熱

- 「子ども最優先」の視点で考える教師(児童理解力)
→こども基本法施行・こどもまんなか社会の実現
- 実態に応じて計画的に、子どもが「分かる」できるつくる楽しい授業を実現する教師(授業力)
- 学び変化し続ける専門性の高い教師(自己研鑽)
→Change変化/Challenge挑戦/Creative創造

○Positive 前向き

- 仕事に厳しく、人に優しく、プラス思考
- 現状維持に満足せず、常に改善向上する姿勢
- タイムリーで積極的な情報発信

○Power 機動力

- 迅速で的確な判断と対応(報告・連絡・相談・記録)
- 「チーム志六」組織の一員としての自覚
- 「最悪を想定して」「慎重に」「素早く」「誠意をもって」「組織的な対応」(危機管理の「さしすせそ」)

■服務の厳正(服務の宣誓・法令遵守)毎月の研修

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ・身分上、職務上の義務 | ・信用失墜行為の禁止 |
| ・体罰の禁止 | ・不適切な指導の禁止 |
| ・個人情報の管理 | ・会計事故の防止 |
| ・授業時数の確保 | ・交通事故、交通法規違反の防止 |
| ・わいせつ行為やハラスメントの防止 | 等 |